PDCAチェックシート

実施年度	令和 6 年度		
事務事業名	ICT教育推進事業	担当課名	教育総務課

【Plan】計画	【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善
■目的 ・国の「ＧＩＧＡスクール構想」を受け、市内小中学校に整備した１人１台タブレット端末等のＩＣＴ環境を、学習活動において効果的に活用することを目的とする。 ■成果指標（アウトカム・KPI）※ 【目標値】 ・授業でのタブレット使用率 使用率100% 【達成値（R6実績値）】 ・授業でのタブレット使用率 使用率100%	■具体的取組 ・市内小中学校のＩＣＴ担当者と市担当者で、ＩＣＴ活用研修会を行い、各学校の取組や課題等を話し合うとともに、取組等で効果的な事例を各校に報告し、教職員の資質向上に役立てた。 ・児童生徒が使用しているタブレット端末について家庭への持ち帰りルールを策定し、運用体制を整えた。 ・日常の活用が滞りなく行えるようにＩＣＴ支援員を配置した。 ■インプット（投入金額等） 事業費等 ・ＩＣＴ支援員 報酬等　6,863千円 ・学習支援システム使用料 使用料及び賃借料　3,527千円 ・電子黒板及び書画カメラ導入 備品購入費　24,746千円 ■アウトプット（数量等） 実施回数等 ・教職員によるＩＣＴ活用研修会 １回　令和6年7月26日（金） ・授業でのタブレット端末使用率 小学校　18／18クラス（6学年×3校） 中学校　9／ 9クラス（3学年×3校）	■成果指標の具体的検証結果 （インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載） ・教職員研修会の実施 教職員研修を、タブッレット端末での授業支援ソフトの活用を中心に、１回実施した。研修については、タブレット導入後も計画的に実施しており、導入後に発生した課題や国や県の方針を受けた取組についても話し合うことで、各校において、実状に応じて効果的な取組を行うことができた。 ・学習活動におけるＩＣＴ機器の活用 電子黒板及び書画カメラを市内小中学校の全普通教室に設置後すぐに、各中学校区に配置したＩＣＴ支援員が教職員に使い方の講習を行い、設置の翌日から授業で使用を始め、ＩＣＴ機器活用授業の増加や教材準備等の負担軽減につながった。 タブレット端末、学習・授業支援ソフト等を活用した授業改善、児童生徒の自主的な学習への活用に継続して取り組めた。 ・児童生徒がタブレット端末とネットワーク接続用Ｗｉ－Ｆｉルータを各家庭に持ち帰るルールを策定し、スムーズな運用ができた。 ・引き続きＩＣＴ支援員を配置したことで、各校においてタブレット端末や電子黒板等を活用した授業が滞りなく行えた。 ・タブレット端末は、全校全学年で使用されており、今後も有効活用を継続する。	■検証結果を受けての具体的対応 ・ＩＣＴ支援員の活用 ＩＣＴ機器の操作指導及び授業での効果的な活用方法の提案等を目的にＩＣＴ支援員を増員し、各校１名の配置を目指す。 ・多様なタブレット端末の活用 タブレットの活用に学校間で格差がないよう、ＩＣＴ機器に苦手意識を持つ教職員に、ＩＣＴ担当教員やＩＣＴ支援員により、長期休業中に個別支援を行い、電子黒板や書画カメラ等を取り入れた授業改善に活かせるよう支援していく。 ・教職員研修会の実施 学校現場との共通理解を深めるため、teams等を利用したオンライン実務研修会を行う。 ・ＩＣＴ機器の効果的な活用 一人一人の個別最適な学びの実現に向けて、継続してタブレット端末やＡＩドリルの活用を推進する。学習者用デジタル教科書について、教員の研修及び有効な活用方法の研究を提案・指導していく。 また、小中学校の各教室に電子黒板と書画カメラを導入し、タブレットと連携させることで、デジタル教科書などを用いた双方向型の授業の実施を目指す。 ■評価 現状維持

※KPI … 重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標（数値）をいう。